

府内対象にオンライン講座開催 ICT活用施工を解説

きんそく

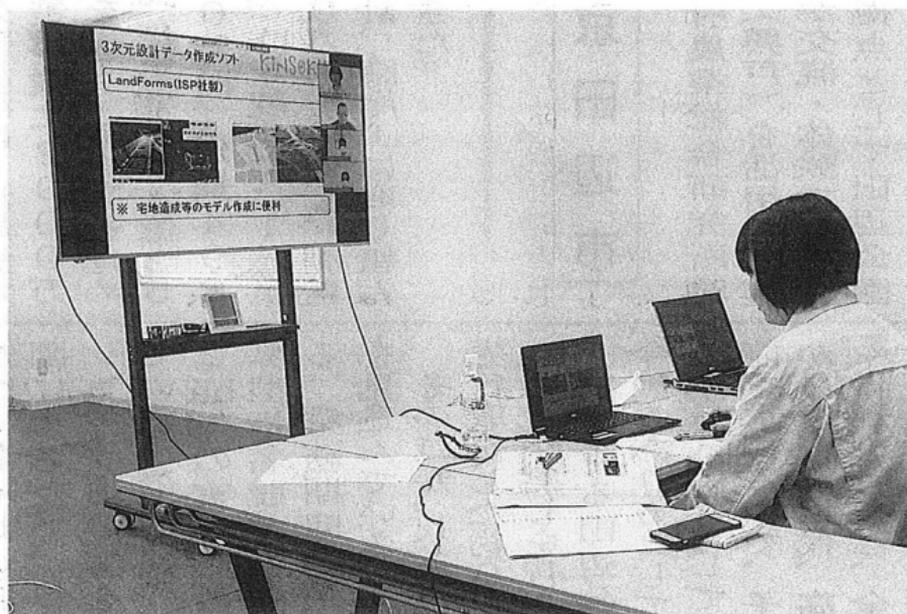
建設コンサルタントのきんそく(本社・京都市)は12日、ICT施工に関する講習会として、本社と京都府内の受講者をつないだオンラインセミナーを開催した。

同社では、国土交通省が推進するi-Constructionや現状のICTの取り組み、活用事例などを建設業者らに理解してもらおうと同講習会を企画。全国の主要都市で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止のためオンラインセミナーに切り替え、今回、京都府内の建設業者が7人受講した。

講習会は、「さらなる進化ICTの未来2020」「地域で勝ち残る為のICT活用事例2020」と題し、同社と協力業者の担当者が解説。国土交通省におけるICT活用工事の実施状況では、ICTの活用工種が年々拡大し、発注物件数も大幅に増加しているとした。

TLS(地上型レーザースキャナー)およびUAV(無人航空機・ドローン)、マルチビーム(大型ラジコンボート)を活用した3次元測量や出来形評価、電子納品などの詳しい説明が行われ、受講者には午前・午後を通しCPDS5ユニットが付与された。

講習会は今年度、約20回、全国の主要都市(東京・大阪・京都・名古屋・和歌山・福井など)で、オンラインセミナーも組み入れて開催予定。



オンライン講座の様子